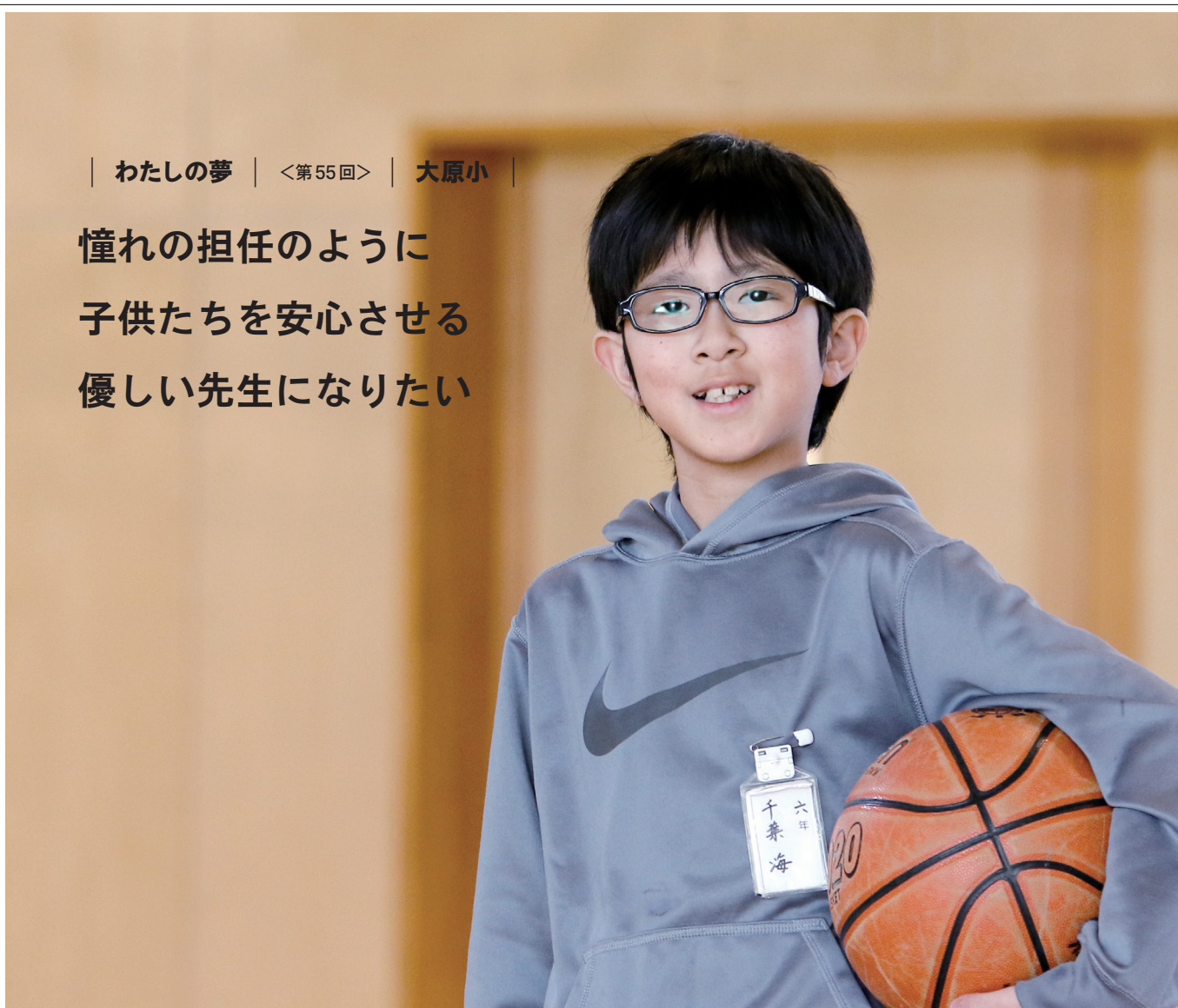


わたしの夢 | <第55回> | 大原小

憧れの担任のように
子供たちを安心させる
優しい先生になりたい



DREAMS COME TRUE

夢は見るものじゃなく、叶えるもの

千葉海さん

ちば・かい
大原小6年

学校では、あいさつ運動に取り組んでいます。大きなあいさつをすると気持ちがいいです。僕は児童会長。廊下を走らないなど下級生の手本になるよう心掛けています。好きな科目は算数。難しい問題が解けた時はうれしいです。スポ少でバスケットボールをしています。新人戦では県大会で敗れました。今年は全国大会出場を目標にしています。将来の夢は、学校の先生になることです。僕が1、2年生のときに担任だった先生がとても優しく、憧れの人でした。夢をかなえるため、授業中は、積極的に手を挙げて発言しています。

編集後記

▼4月に発生した熊本地震。被害に遭われた皆さんにお見舞い申し上げます。一関も岩手・宮城内陸地震、東日本大震災と大きな災害を経験しました。ひとこととは思えません。一日も早い復旧を祈ります。(伊東吉光)

▼広報誌には「記者ハンドブック」というマニュアルがある。先般の改訂で「メイド喫茶」はメイド喫茶に書き換え。「アニメ」は注釈が不要になった。言葉は常に変化しているんだな。(高橋英義)

▼トラックをブルーに一新した一関運動公園の陸上競技場。青色には集中力を高める効果があるとか。デスク周りを青く変えてみようかな。(吉住優)

▼異動で4月から長寿社会課へ。入庁から3年。取材で多くの人たちと出会いました。取材の数だけ一関の魅力を感知、出会いの数だけ一関が好きになりました。広聴広報課で学んだこと、皆さんとの出会いは生涯の宝物です。ありがとうございました。(小野寺裕香)

▼4月から広聴広報課になりました。皆さんから「広報が届くのが楽しみ」と言われるような記事をお届けしたいです。よろしくお願いいたします。

(荻庄瑠子)

